

## LEDシーリングライト 取扱説明書

GYL12R0140101

お客様へ

この度は、タキズミ照明器具をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
「取扱説明書」をよくご覧のうえ、正しく安全にご使用ください。  
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。  
保証書はお買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに  
大切に保管してください。

工事店様へ

この説明書は工事終了後、この器具をご使用になるお客様にお渡しください。

# 品番 GC12174

### 【安全上のご注意】必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

◆誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を  
区分して、説明しています。

◆お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。



**警告**

「死亡や重傷を負うおそれがある  
内容」です。



**注意**

「傷害を負うことや、財産の損害が  
発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

## 警告

### ■取付面

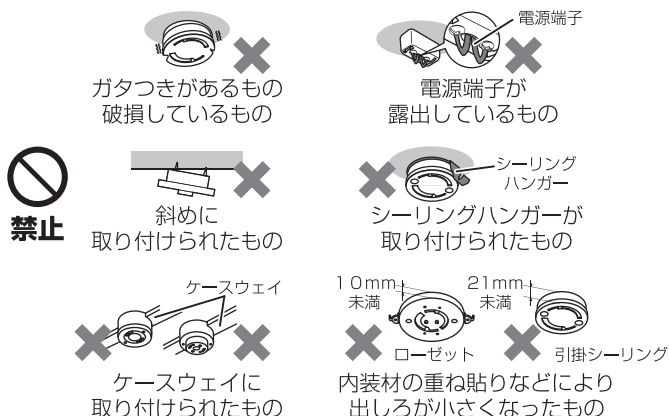
- 次のような場所には取り付けないでください。  
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。



◎この器具は水平天井専用です。

### ■配線器具

- 次のような配線器具（ローゼット・引掛シーリング）には取り付けないでください。  
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。



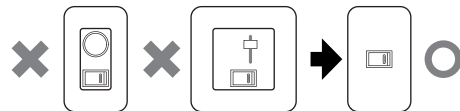
◎販売店、工事店に交換を依頼してください。  
(工事には資格が必要です)

### ■壁スイッチ

- 調光機能が付いた壁スイッチの場合は、  
一般の入切用スイッチに交換してください。  
火災のおそれがあります。



必ず守る



◎販売店、工事店に交換を依頼してください。  
(工事には資格が必要です)

### ■その他

- 交流100ボルトで使用してください。  
過電圧を加えると過熱し、火災・感電のおそれがあります。
- 異常を感じた場合、速やかに電源を切ってください。  
異常状態が収まったことを確認し、お客様相談室にご相談ください。
- アダプタは確実に取り付けてください。  
落下してけがのおそれがあります。
- 本体は確実に取り付けてください。  
破損して感電のおそれがあります。
- 本体が簡単に回転しないことを確認してからカバーを取り付けてください。  
破損して感電のおそれがあります。



必ず守る



分解禁止

- 器具を改造したり、部品交換をしないでください。  
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

# 注意

●照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。

点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。

◎1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。  
(弊社ホームページより書式をダウンロードしてご使用ください)  
<https://www.takizumi-denki.com/publics/index/208/>

必ず守る

●付属の梱包材は取り除いて使用してください。

そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

●この製品は5℃～35℃の範囲内で使用してください。

火災、感電の原因となることがあります。

●取付け・取りはずし時などは足場を確保し、安全に作業できるように注意してください。

転倒・落下してケガをするおそれがあります。

必ず守る

●カバーなどが破損した場合、けがの原因になることがありますので、破損部分に直接手や肌などを触れないでください。

◎破損した状態のまま使用すると感電、けがの原因になることがあります。  
販売店に点検、部品の交換、修理を依頼してください。

接触禁止

●点灯中や消灯直後は本体やその周辺にさわらないでください。

やけどの原因となることがあります。

◎お手入れは電源を切り、本体やその周辺が冷めてから行ってください。

水ぬれ禁止

●浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しないでください。

火災、感電の原因となることがあります。

◎この器具は防湿、防雨型ではありません。

禁止

●温度の高くなるものを器具の真下に置かないでください。

火災の原因となることがあります。

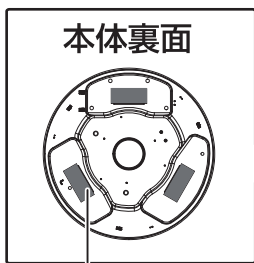
◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

●LEDを直視しないでください。

目の痛みの原因となることがあります。

## 各部のなまえと付属部品

取付ける前にまず付属部品をご確認ください



本体裏面

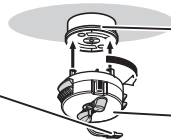
黒スポンジ

※本体裏面に3カ所ついている黒スポンジは取らないでください。(本体回転防止のため必要です)

アダプタ側コネクタ

本体

LED



配線器具

(付属していません)

アダプタ

補修品番：LC-104NWH

本体側コネクタ

常夜灯

カバー

(汚れが付きにくいカバー)

詳しくは8ページを参照ください。

●汚れが付きにくいカバーについて  
●お手入れについて

## リモコン付属部品

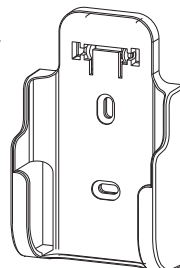


リモコン  
(抗菌)

補修品番：TLR-014



リモコン  
ケース  
(抗菌)



木ネジ  
2個



単4形乾電池  
2個



●リモコンに付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命が短い場合があります。

SIAAマークはISO 22196 法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

※リモコンの電池カバー、チャンネル切替スイッチにも抗菌効果があります。

## 1 天井についている配線器具を確認する。

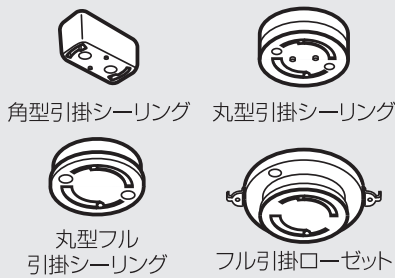
※壁スイッチと併用をおすすめします。

天井に右図のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。

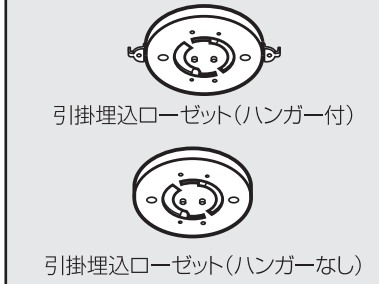
**!** 右記以外の配線器具の場合、配線器具が設置されていない場合、取り付けできません。

◎販売店、工事店に交換を依頼してください。  
(工事には資格が必要です)

天井からの出しろが22mmの配線器具



天井からの出しろが11mmの配線器具



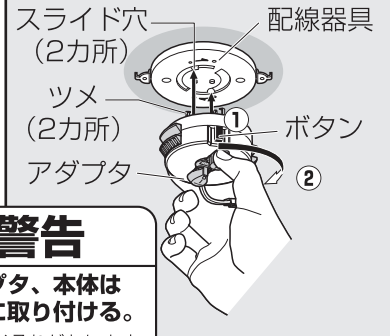
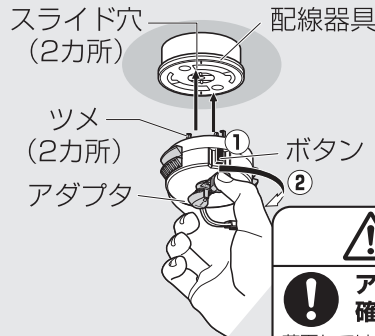
## 2 天井の配線器具にアダプタを取り付ける。

- 位置を合わせる。  
アダプタのツメ(2カ所)を配線器具のスライド穴に入れる。
- カチッと音がするまでアダプタを右に回して取り付ける。

### 警告

**!** アダプタは必ず付属のアダプタを使用してください。  
付属のアダプタ以外を使用した場合、本体が外れなくなる場合があります。

**確認** ボタンを押さずに左に回して外れないことを確認する。



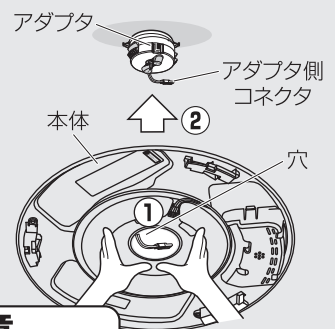
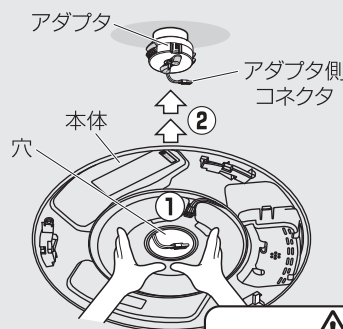
### 警告

**!** アダプタ、本体は確実に取り付ける。  
落下してけがのおそれがあります。

## 3 本体を取り付ける。

- 本体の穴にアダプタ側コネクタを通す。
- アダプタに本体の穴を合わせて穴のまわりを押し上げる。
- アダプタのツメ(白)が見えることを確認する。
- アダプタのハンドルをロックする。

※配線器具により本体の取付位置が異なります。  
下記を参考に押し上げてください。



### 注意

**!** 本体の穴のまわりを押しあげる。

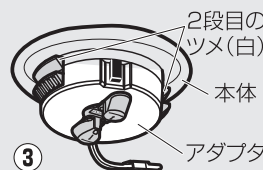
カチッ  
カチッと2度、音がするまで押し上げる。

横から見た図



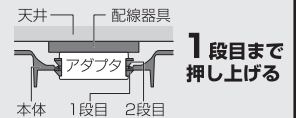
### アダプタの本体取付位置

アダプタ2段目のツメ(白)が両方見える。



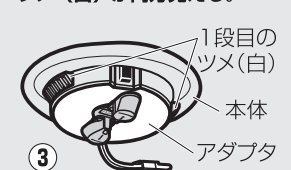
カチッと1度、音がするまで押し上げる。

横から見た図

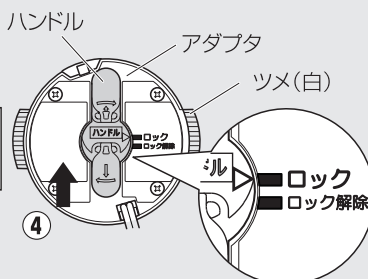


### アダプタの本体取付位置

アダプタ1段目のツメ(白)が両方見える。



下から見た図

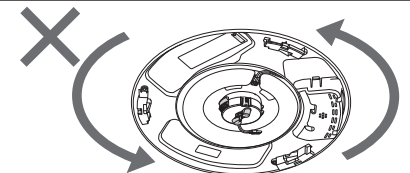
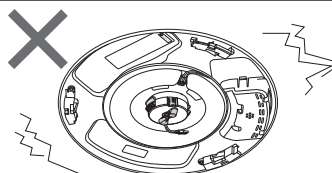


ハンドルをスライドさせて▲印をロックの位置に合わせる。

## 4 本体が正しく取付けられているか確認する。

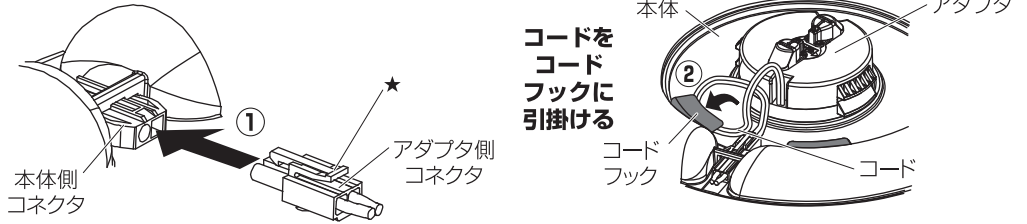
### 確認

右図の場合、正しく取付けられていないので手順3を再度行なってください。



## 5 コネクタを接続する。

- ① アダプタ側コネクタを本体側コネクタに確実に差し込む。
- ② アダプタのコードを本体のコードフックに引掛ける。



### 確認

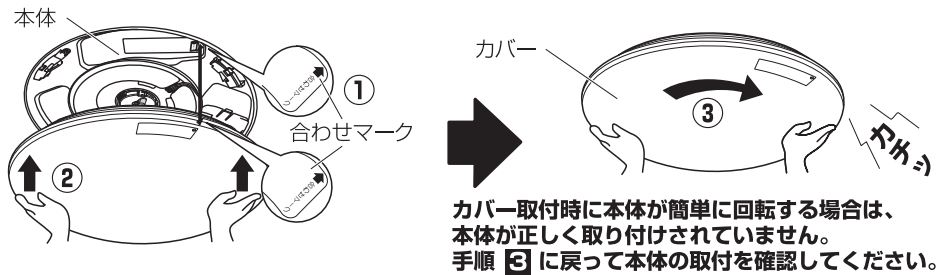
★の部分を押さえずに引っ張って、アダプタ側のコネクタが抜けないことを確認してください。

### 警告

コネクタ接続後は、本体を無理に回転させないでください。器具や配線器具の落下、破損の原因になります。

## 6 カバーを取付ける。

- ① 本体とカバーの合わせマークを合わせる。
- ② カバーを持ち上げる。
- ③ カチッと音がするまでカバーを右に回す。



### 確認

カバーが確実に取付けされていることを確認してください。

### 取り外しかた

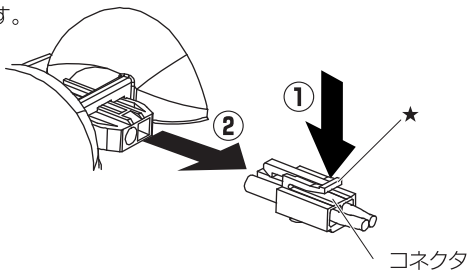


## 照明器具を取り外す

安全のため、必ず電源を切ってから行ってください。

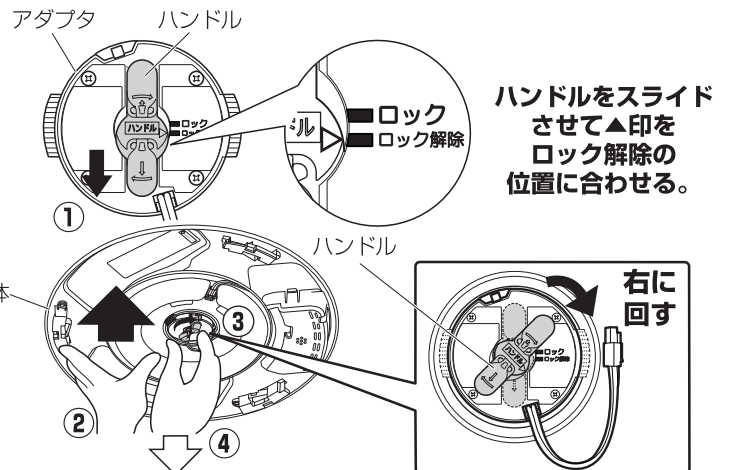
### 1 コネクタを外す。

- ① コネクタの★部分を押さえずながら
- ② 取り外す。



### 2 本体を取り外す。

- ① アダプタのロックを解除する。
- ② 本体が落ちないようにしっかりと支えながら
- ③ ハンドルを右に回す。
- ④ 本体をゆっくりと下げて取り外す。



### 3 アダプタを外す。

- ① ボタン（黒）を押しながら
- ② 左に回して外す。



### 警告

本体が落ちないようにしっかりと支える。落下してけがのおそれがあります。

# あかりをつける・消す

## 壁スイッチで照明器具を操作する

### 点灯・消灯する

「入」



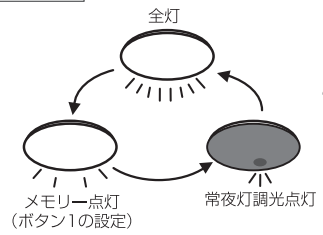
「切」



- ただし、リモコンで「明るさと色あい」を調節した状態で消灯した場合、現在の状態は記憶しません。そのため、次にONしたときは、最後にメモリーボタン1に記憶した「明るさと色あい」で点灯します。
- 消灯状態で「切」にすると次に「入」にしたときも消灯状態になります。

### 点灯状態を切り替える

壁スイッチを素早く(約3秒以内に)OFF⇔ONと切り替えると次の順に点灯状態が切替ります。



- 初期設定はメモリーボタン1に(明るさ：100% 色あい：昼白色5000K)の状態に記憶されています。
- 壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用しないでください。点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。

## リモコンについて

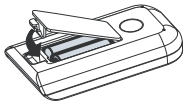
### リモコンで照明器具を操作する 壁スイッチは「入」の状態にしてください。

#### 乾電池の入れかた

- 裏側のカバーをはずす。レバーの▲の方向に押し引き上げる
- 電池の⊕⊖を正しく入れる。



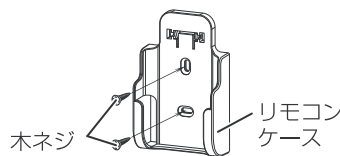
- カバーを取り付ける。電池は⊖側接点をリモコンのパネに正しく押し当てながら装填してください。



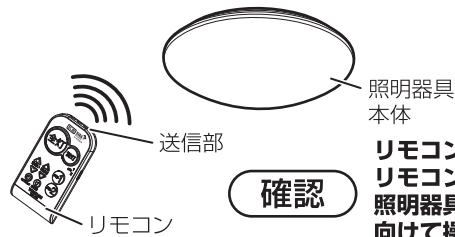
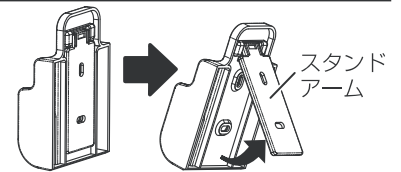
- 使用する電池や条件により半年未満で消耗することがあります。
- リモコンに付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命が短くなる場合があります。
- 電池を入れるとき、電池に傷を付けたり、カバーを破らないようにしてください。発熱、破裂、発煙、発火の恐れがあります。
- 交換時は、2本とも新しい同じ種類のものを使用してください。
- 長期間使わないときは、電池を取り出してください。(液漏れによる故障防止)

#### リモコンケースの使いかた

壁などに取付ける場合



テーブルなどに置いて使用する場合

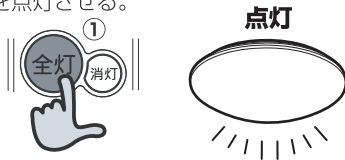


リモコンを操作する場合はリモコンケースから取り出し照明器具本体に送信部を向けて操作してください。

## 点灯状態を調節し記憶させる

LED点灯中に調光・調色操作を行ない、メモリー点灯ボタンを長押しすることにより、その明るさ、色あいを記憶することができます。

- リモコンの「全灯ボタン」を押してLEDを点灯させる。



- リモコンの「調光ボタン」「調色ボタン」を押しておこのみのLEDの明るさと色あいに調節する。



- リモコンの「メモリー1ボタン」または「メモリー2ボタン」を長押しして明るさと色あいを記憶する。



(例) メモリー1ボタンは電球色に記憶  
メモリー2ボタンは昼光色に記憶

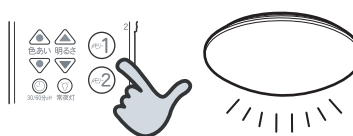
「ピー」とブザーが鳴り明るさと色あいを記憶

- 再び左記の操作を行うまでは、記憶した明るさと色あいを保持します。

## 記憶した明るさ、色あいをワンタッチで点灯させる

記憶した明るさ、色あいをワンタッチで点灯することができ、「お気に入りの点灯状態」としてご利用できます。

リモコンの「メモリー1ボタン」または「メモリー2ボタン」を押してLEDを点灯させる。



- 初期設定はボタン1、ボタン2共に(明るさ：100% 色あい：昼白色5000K)の状態に記憶されています。

# リモコンで照明器具を操作する 壁スイッチは「入」の状態にしてください。

## リモコンのボタンについて

※リモコンなどの付属部品は1年保証です。(乾電池を除く)

### 全灯ボタン

100%の明るさで点灯します。  
●蓄光ボタンが太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。  
ボタンを長押し(3秒以上)で操作する照明器具のチャンネルを切り替える場合に使用します。  
⇒(7ページの2台までのリモコン照明器具を操作するを参照)

### 調光ボタン

明るさを調節します。  
調光範囲: 100%~約10%まで

### 調色ボタン

色あいを調節します。  
調色範囲: 昼光色6700K~電球色3000K※まで

### offタイマーボタン

offタイマーをセットすると30分または60分後に自動消灯を行います。  
タイマー設定後、offタイマーボタン以外のボタンを押すと「ピー」とブザー音が鳴ってタイマーは解除されます。  
必要な場合は、改めてタイマー設定をおこなってください。

**押すごとに下記の動作を繰り返します**

60分後消灯 (「ピピピピ」と音がする)	→	30分後消灯 (「ピピピ」と音がする)
	←	

### 消灯ボタン

消灯します。

消灯ボタン操作	点灯状態
1回押す	すぐに消灯
2回続けて押す	約30秒後に消灯

### チャンネル切替スイッチ

操作する照明器具のチャンネルを設定する場合に使用します。  
⇒(7ページの2台までのリモコン照明器具を操作するを参照)

### メモリー点灯ボタン1

### メモリー点灯ボタン2

メモリー設定操作をした「明るさと色あい」で点灯します。  
ボタンを長押し(2秒以上)で点灯状態を記憶します。  
⇒初期設定 ボタン1、ボタン2共に  
(明るさ: 100% 色あい: 昼白色5000K※)  
⇒(5ページの点灯状態を調光・調色し記憶させる、記憶した明るさ、色あいをワンタッチで点灯させるを参照)

### 常夜灯ボタン

常夜灯を点灯、ボタンを押すたびに明るさを調節します。  
●常夜灯は調色できません。  
調光範囲: 明暗上下5段階⇒初期設定: 最大の明るさ(5段階)

※K(ケルビン)とは、色温度の単位で光の色を数値化したものです。

## 故障かな?と思ったら

下表に従って点検してください

現象	考えられる原因	参照ページ
点灯しない。	壁スイッチがOFFになっている。	➡ 壁スイッチをONにしてください。 ⇒5ページ・・・
	器具のコネクタが確実に差し込まれていない。	➡ 器具のコネクタを確実に接続してください。 ⇒4ページ・・・
リモコンで操作できない。	リモコンと器具のチャンネルが合っていない。	➡ リモコンと器具のチャンネルを合わせてください。 ⇒7ページ・・・
	リモコンの電池が正しく入っていない。	➡ リモコンの電池を正しく入れてください。 ⇒5ページ・・・
	リモコンの電池が消耗している。	➡ リモコンの電池を交換してください。 ⇒5ページ・・・
勝手に消灯する。	offタイマー30分/60分がセットされている。	➡ offタイマー30分/60分を解除してください。 ⇒6ページ・・・
勝手に点灯する。	非常に短い停電などにより壁スイッチ機能がはたらき、点灯状態が切り替わった可能性がある。	➡ 壁スイッチをOFFにしてください。 ⇒5ページ・・・ ➡ リモコンまたは壁スイッチ操作で点灯モードを切り替えてください。 ⇒5ページ・・・

上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入店、弊社お客様相談室にご相談ください。

# リモコンの便利な使いかた

## 2台までのリモコン照明器具を操作する

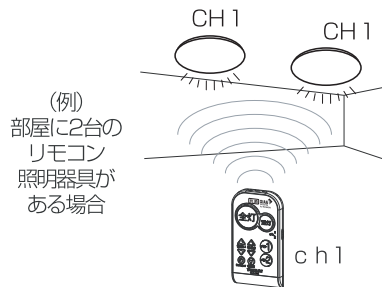
照明器具のチャンネルを変更できます

### チャンネル設定で できること

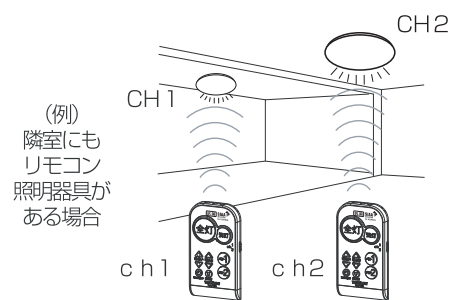
リモコンのチャンネルを切り替えると、1台のリモコンで複数の本体が操作できます。

また、リモコンで操作できない時は、チャンネル設定が合っていない場合があります。

### ●複数の器具を同時に 点灯できます。

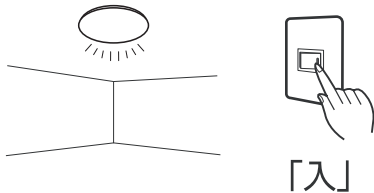


### ●近くの器具を別々に 点灯できます。



## チャンネルの設定方法

●チャンネルの初期設定は照明器具本体、リモコン共にch1に設定されています。



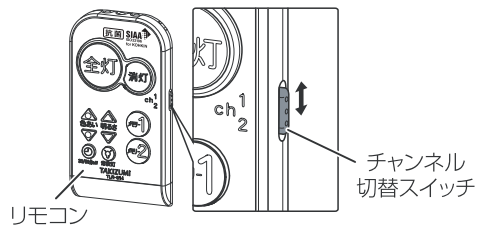
### 照明器具本体をch2に設定する場合

- ① チャンネル設定 **ch2** に設定したい器具 (1台) のみを壁スイッチONにする。

### 照明器具本体をch1に設定する場合

- ① チャンネル設定 **ch1** に設定したい器具 (1台) のみを壁スイッチONにする。

チャンネル設定を切り替えたい照明器具本体以外にも反応して、同時に設定されてしまう場合は壁スイッチOFFにしてから対象器具以外のコネクタを取り外してからチャンネル設定をしてください。



- ② リモコンのチャンネル切替スイッチを **ch1** の位置にする。

- ② リモコンのチャンネル切替スイッチを **ch2** の位置にする。

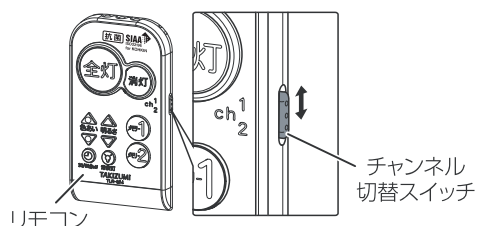


- ③ 照明器具本体にリモコンを向けながら「全灯ボタン」を約3秒以上、長押しする。

- ③ 照明器具本体にリモコンを向けながら「全灯ボタン」を約3秒以上、長押しする。

(「ピーピーピ」とブザーが鳴り照明器具本体のチャンネルが **ch1** → **ch2** へ切り替わります。)

(「ピーピーピ」とブザーが鳴り照明器具本体のチャンネルが **ch2** → **ch1** へ切り替わります。)



- ④ リモコンのチャンネル切替スイッチを **ch2** の位置に切り替えて使用してください。

- ④ リモコンのチャンネル切替スイッチを **ch1** の位置に切り替えて使用してください。

(照明器具本体のチャンネル設定が **ch2** に切り替わっているためリモコンのチャンネルを合わせないと操作することができません。)

(照明器具本体のチャンネル設定が **ch1** に切り替わっているためリモコンのチャンネルを合わせないと操作することができません。)

リモコンは、他のタキズミ製リモコン付照明器具に対しても操作できますが、チャンネルの設定の方法はその商品の取扱説明書をご参照ください。また、機種によってはリモコンで操作できる機能が制限される場合があります。

# ご使用上に関するお知らせ

## 【ご使用上の注意点】

- 点灯中や消灯後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- 天井の材質や構造によっては、器具取付天井面が変色することがあります。
- 停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。
- 長時間使わないときは、壁スイッチをOFFしてください。
- 壁スイッチがないリモコンの電池が消耗した場合やリモコンを紛失した場合には点灯消灯ができません。
- 壁スイッチがONの場合、消灯時も待機時消費電力を消費しています。
- LED、常夜灯にはバツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- 3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見える場合があります。
- 3Dテレビ視聴時、リモコンが反応しにくい場合があります。
- 点灯中にビデオカメラを使用すると、ビデオカメラのモニターや録画画像に縞模様が入る場合があります。
- LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。
- 照明器具が点灯しない場合は、電源を切り、ご購入店、弊社お客様相談室にご相談ください。

## 【周囲の影響】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像通信機器に雑音が入ることがあります。
- 器具のきわめて近くでは、リモコン機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなる場合があります。

# 汚れがつきにくいカバーについて

- 帯電防止剤を添加することで、セード表面の静電気の発生を抑制し、ほこりや汚れが付着しにくくなります。

※ほこりや汚れの付着を完全に防ぐものではありません。

# お手入れについて

## 電源を切って、本体やその周辺が冷めてから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に下記の手順で清掃してください。

本体：石けん水に浸した布をよく絞って拭き取り、洗剤が残らないようによく拭き取る。柔らかい布で拭く。ひどい汚れのときは、よく絞った布で何度も拭き、最後に必ず乾拭きをする。**（水洗いはできません）**

カバー（プラスチックのもの）：石けん水に浸した布をよく絞って拭き取り、洗剤が残らないようによく拭き取る。柔らかい布で拭く。ひどい汚れのときは、よく絞った布で何度も拭き、最後に必ず乾拭きをする。

カバー（木・竹・和紙）：ハタキ・ハケ・柔らかいブラシ等でこまめにホコリを払い落としてください。**（水洗いはできません）**

- 使用する電池や条件により半年未満で消耗することがあります。  
※リモコンに付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命が短くなる場合があります。交換時は、2本とも新しい同じ種類のものを使用してください。長期間使わないときは、電池を取り出してください。（液漏れによる故障防止）

- リモコンの送信部は定期的にお手入れを行ってください。ほこりなどにより汚れるとリモコンが動きにくくなります。



### 確認

シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。セードには帯電防止剤が添加されています。セードを強くこすらないでください。帯電防止性能が一時低下します。

# 仕様

使用電圧	周波数	消費電力	入力電流
AC100V	50/60Hz共用	全灯：39.5W 常夜灯：1.3W 待機時：1W以下	0.40A

- LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。（照明器具の寿命とは異なります）  
光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

### タキズミ照明器具保証書

※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。

#### <保証について>

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店または、下記「お客様相談室」までご相談ください。
3. 二次販売、ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けにならない場合には、下記「お客様相談室」までご相談ください。
4. 保証期間は製品お買い上げ日から**5年間**です。（本体、LED器具の点灯装置）但し、付属部品は**1年間**です。  
**お買い上げ日より5年以内に故障が発生した場合は、保証規定の範囲で無料修理させていただきます。**  
※24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合は、上記の半分の期間とします。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。  
**This warranty is valid only in Japan.**
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

7. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。  
(1) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障及び損傷  
(2) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下による故障および損傷  
(3) ご使用による器具のキズ、汚れ、および自然劣化  
(4) 各部材の経時変化による外観の劣化やそれに伴う照明機能低下  
(5) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、カス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷  
(6) 一般家庭用以外（例えば業務用等や車両、船舶等に搭載）に使用された場合の故障および損傷  
(7) 施工上の不備に起因する故障や不具合  
(8) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わない事による故障および損傷  
(9) 本書および領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示がない場合  
(10) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合

#### <アフターサービスについて>

1. 保証期間中に万一故障が起きた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店までお申し出ください。
  2. 保証期間終了後は、お買い上げの販売店または、下記「お客様相談室」までご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
  3. アフターサービスについてのご不明な点や修理に関するご相談は、下記「お客様相談室」までご相談ください。
  4. 弊社は照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後最長6年間保有しています。  
（※セードなどの電気部品以外の部品は含まない）  
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。
- ※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な点はお買い上げの販売店または、下記「お客様相談室」までご相談ください。

品番	GC12174	保証期間 (お買い上げ日から)	本体、LED器具の点灯装置： <b>5年間</b>	お買い上げ日	年 月 日
			カバー、付属部品など： <b>1年間</b>		
お客様	お名前		販売店名・住所・電話番号		
	ご住所 〒 -				
	電話番号 ( ) -				

●お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及び、その後の安全点検活動のために記載内容を利用して頂く場合がございますので、ご了承ください。

ご不明な点などは下記までご連絡ください。

# 瀧住電機工業株式会社

〒546-0035 大阪市東住吉区山坂2-21-16

フリーダイヤル 「お客様相談室」 ☎ 0120-226-544

受付時間/月～金(土、日、祝日、夏季、年末年始休業日を除く) 9:00～17:00

http://www.takizumi-denki.com/